

おかげさまで、のんびり、ゆったり春山を楽しんでいます。鎌倉・三浦・湘南・南房総・丹沢・高尾の山が呼んでいます。

元気印な川崎だより

季刊(No.6)
'19.3.20

青空を見上げ、亡き人を偲びながら、春色の景色にひたっています。それから、いつも、どこでも「人道・博愛」
(浮かれ)

投句された2,790句(一般の部2,062句、子どもの部728句)につきま
して、選者の星野椿さま、星野高士さまのご両名による選考を行いました。
あなたは平成30年度冬季鎌倉俳句&ハイクにおいて、入選されましたので、
表彰状及び記念品をお送りします。まことにおめでとうございます。

<p>初詣心 静かに建長寺 香煙を浴び長谷寺の秋深し 笹鳴くは何処や寺苑広かりし 笹ゆれる十日戎の華やぎよ</p>	<p>蒼穹へ 向ひ一聲寒鴉 春隣唐門に風やはらはかし 寒風や紫に伸ぶ遠岬</p>	<p>寒風や 紫に伸ぶ遠岬 実朝の海の上なる雪の富士 落葉踏み鎌倉人になりけり</p>	<p>海光は 寺まで届き冬ざくら 江ノ電を降りてぶらりと秋の浜 石路咲くや道はここより切通し</p>	<p>山の日を 集めて寺の柿たわわ 池田章子 冬紅葉港</p>	<p>人もかく 老いゆくものを残る菊 尾高好子 参道の敷</p>	<p>盛んなる つらつら椿虚子館 加瀬伸子 野仏の慈悲</p>	<p>日照雨とも 秋時雨とも化粧坂 秋山つとむ 冬ぬくし立</p>
--	---	--	---	--	---	--	--

わたしの俳句が人目についたのは、やっ(?)2回目。(1回目は仲の夏やすみの宿題。秀句だったのが学年文集に載った。「夕月や雲の間は闇に咲れんぼ」)

まぐれ(偶然による好結果)と
実力(実際にもっている力量)は紙重(?)

賞状

入選 一般の部
初詣心静かに建長寺

里中 信様

あなたは平成三十年
度冬季鎌倉俳句&ハイクにお
いて頭書の成績を収められ
ましたのでこれを賞します

平成三十一年三月一日

鎌倉俳句&ハイク実行委員会
実行委員長 富岡幸一郎

